

《ベビーキウイの生産、生果での市場流通・販売および地域における将来的な産地形成プロジェクト》

市町村	中山町	対象地域	沼の倉地区	分野	果樹
実施主体名	橋本 忠治	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	中山町
実施主体構成	個人				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	ベビーキウイ：6,869千円（6,869千円） 経営全体として9,729千円増					
	独自の目標項目	現在、遊休農地である沼の倉地区の経営資源を集中的に新規部門（ベビーキウイ）へと再分配し、早期に部門の安定化を図る。また、沼の倉地区での将来的な産地化を視野に入れ絶対的速さ・相対的早さを重視した経営を行う。					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	0千円	0千円	0千円	1,308千円	4,089千円	6,869千円
	独自の 目標項目	遊休/栽培 150a/50a 重点課題：事業開始	遊休/栽培 0a/200a 栽培の安定化	遊休/栽培 0a/200a 栽培の安定化	遊休/栽培 0a/200a 販売面の安定化	遊休/栽培 0a/200a 販売面の安定化	遊休/栽培 0a/200a 規模拡大の検討
プロジェクト 概要	◎実施方針	遊休農地である沼の倉部門を再生し、ベビーキウイの生産・販売を行う事で所得拡大・経営改善を目指す。					
	○産出額の増大	ベビーキウイにおいては、遊休農地の現状から目標年6,869千円（成木時11,640千円）を産出する。経営全体としては、既存部門の改善と合わせ9,729千円（/H20年比）の増加を図る。					
	○雇用の創出	収穫および出荷作業の期間中において最大200人日程度（成木時）の雇用を創出する。 H25:年間雇用創出効果（増加分） 198人日/年					
	○創意工夫	新興果実であるため、認知度の向上・販路の開拓・販売形態の模索が必要となる新規商材開発となる。					
	○実現性	農協・市場の協力を得て、新規商材として関西圏での販路の開拓を目指し関係各位と協議中である。					
	○地域への波及効果	沼の倉地区での将来的な産地化により、産地としての農業産出額の向上が期待される。					
	○その他	本部門は家族経営協定を締結し認定農業者として後継者を中心とし、将来的には研修生等の受入れも行う。					

事業計画		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成24年度）
	事業内容	①伐根整地 ②果樹棚の設置 ③植栽(苗木購入)	①選果場の増築 ②冷蔵庫の設置 ③収穫コンテナの購入